

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：令和元年7月5日（金）

13：35～14：20

場 所：松江市生馬小学校体育館

対象者：同校6年生 16名

指導者：6年生担任 若林一史

島根県古代文化センター

原田敏照, 野々村安浩, 岩本真実

1. 主題名

「聖武天皇と奈良の大仏」

2. ねらい

○「奈良の大仏」の大きさを、パズル体験を通して知るとともに、込められた先人の思いについて考える。

○体験型歴史学習を通し、歴史や文化財に対する興味・関心を高める。

3. 本時の展開

| 学習活動 | 指導者の支援及び留意点 |
|--|---|
| 13：35～13：45（10分） ① 本時の「めあて」を確認する。 ・「奈良の大仏」について、造られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。 ・松江市で出土した奈良時代の土器について知る。 | ・資料を使って、「奈良の大仏」の造られた背景や特徴について簡単に説明する。 ・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気付き」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行する。 |
| 13：45～14：10（25分） ② 「奈良の大仏」の大きさを体験する。 ・1m四方の部分パネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18mの大仏を完成させる。 | ・体育館の床に実物大の仏像パネルをすることにより、その大きさを体感しながら込められた先人の思いを考えさせるようにする。 ・友達や保護者と協力して活動できるよう、声をかける。 |
| 14：10～14：15（5分） ③ 「まとめ」「ふり返し」をする。 ・「聖武天皇は、巨大な大仏を作り、仏の力を借りて平和な世の中をつくらうとした。」 | ・学びがより深まるように、ふり返しや感想を述べ合う。 ・指導者は、活動の様子で良かった姿、がんばっていた姿を紹介したり、褒めたりする。 |
| 14：15～14：20（5分） ④ 片付け | ・協力して片付けをおこなう。 |

4. 事前準備

- ・ 当日12：35から体育館に出土品、長机（準備：小学校、2脚）を設置する。
- ・ 「奈良の大仏」の実物パネルを体育館に運び入れ、広げておく。

5. 準備物

- ・ [体験用具] 「奈良の大仏」の実物パネル カメラ、アンケート
- ・ [説明用具] 奈良時代の土器 「奈良の大仏」の造られた背景等をまとめたパネル

6. その他

- ・ 服装は体操服。大仏パネルの活動は靴を脱いで行う。
- ・ 熱中症対策として水筒を用意させ、必要に応じて給水時間を設ける。